

第7回日本音楽療法学会関東支部都県別講習会（山梨）

第7回日本音楽療法学会都県別講習会（山梨）は、下記の要領で開催します。教育、福祉、医療の支援の現場で活躍する方々に、是非お勧めします。万障繰り合わせて、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 日時 2019年10月14日（月）9時30分～16時40分（受付9:00）
- 場所 山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合）3F 視聴覚・音楽室
- 参加費 関東支部県内会員 1,000円、関東支部県外・他支部会員 1,500円、一般 2,000円、学生無料

講師
高橋多喜子氏



講演及びワークショップ

「高齢者のプログラムを考える～目的別プログラムの違いを体験する/認知症予防音楽療法プログラムを中心に～」

音楽療法に於いて、対象者の実態や目的に合ったプログラムを立てることは必須である。認知症予防においては、音楽を用いて二つ以上の認知・運動課題に取り組むプログラムの有効性を検討してきた。最近では、アイデンティティの再設定や生きがい感の支援に向けて、回想的音楽療法プログラムを開発した。このプログラムでは毎日を何のために生きているのかと悩む高齢者に対しての効果が期待される。ここでは、回想的音楽療法で、アイデンティティが統一されていく体験や、童謡や唱歌をジャズアレンジした二重、三重課題の体験など、目的別プログラムの違いによる内容を体験していただき、プログラム立案について考え

●プロフィール 国立音楽大学音楽学部楽理学科、筑波大学大学院教育研究科障害児教育専攻終了、順天堂大学医学部 博士（医学）。音楽療法R&Dセンター、CEOセンター長、日本音楽療法学会認定音楽療法士、同関東支部長、日本老年行動科学会常任理事、淑徳大学教育学部非常勤講師、順天堂大学医学部協力研究員兼務、著書：「補完代替医療 音楽療法第3版」金芳堂 2017、「ジャズで楽しく認知症予防」オンキョウパブ 2019

講師
久米 洋子氏



講演

「子どもの感覚処理の評価から行動（ふるまい）を理解し、支援に生かすために ～地域の発達相談・子育ての支援の現場から～」

地域における相談の場で、発達に課題をもち不安を抱く親子に、様々な専門性を活かして向き合うことは大切である。課題の背景を考え、わずかでも発達が前に進み、不安の少ない暮らしを送るためには、多職種が連携することが不可欠である。一方で地域の相談支援の現場では、連携に必要な機会や時間が充分にあるとは限らない。

作業療法士として「子どもの行動（ふるまい）」を評価し理解・支援につなげる過程を、事例をあげながら紹介する。その過程を多職種で共有することで各々の専門領域に共通の話題

●プロフィール 平成元年（1989年）より作業療法士として心身障害児総合医療療育センターで勤務。赤ちゃんから成人まで、多職種との連携により、子どもの成長・発達支援や親子を見守るチームアプローチを経験。青年海外協力隊として、地域リハビリテーション、生活に根差した現場での作業療法の実践。現在、フリーランスの立場で、東京都、埼玉県の子どもの発達支援センター、保健センター、小中学校、クリニックの現場で、保育士・保健師・教師と連携し、相談（個別・巡回）、対象児・者への直接支援実施。

会場案内

山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合）
〒400-0862 甲府市朝気1-2-2
☎：055-235-4171 FAX：055-235-1077
駐車場完備（付近に第2、3駐車場有）

<電車>

JR中央線ご利用の方 甲府駅南口からタクシーで8分
JR身延線ご利用の方 甲府駅から金手駅下車、徒歩20分

<車の場合>

東京方面から
・中央高速→
一宮御坂を下りて30分
・甲府昭和を下りて20分

<宿泊の場合>

会場まで1分
ホテルクラウンパレス甲府
地図参照



●申込方法●

- 氏名、住所、電話あるいはFAX、メール、会員番号、学生は学校名を記述する。
- 会員、一般、学生の内、該当するものを記述する。
- 会員の場合、会費納入を確認し、未納入の場合は9月30日までに必ず納入し、納入済みと記述する。
- 上記を記入し、yamanasi@jmta-kanto.jp に申し込む。
- 締め切りは2019年10月9日（水）

●問い合わせ先●

- yamanasi@jmta-kanto.jp
- FAX 055-252-5951（山本）